

薬局向け

医療機関・薬局間の連携テスト実施手順書

令和8年10月1日 1.20版

厚生労働省 政策統括官（情報政策担当）

医療情報基盤・診療報酬審査支払機構

本書

1. はじめにお読みください	P. 2
2. 資料構成及び本書で用いる表記・用語について	P. 3
3. 連携テストで利用する環境・機器について	P. 5
4. 医療機関・薬局間で連携テストを実施する際の準備と注意事項	P. 6
5. 連携テスト実施手順フロー	P. 7
6. 連携テスト実施手順 -環境確認（事前準備）-	P. 8
7. 連携テスト実施手順 -テスト準備-	P.14
8. 連携テスト実施手順 -テスト実施-	P.17
9. 連携テスト実施手順 -テスト実施後-	P.20

参考資料

- ・ 環境確認～連携テスト準備完了時点イメージ（詳細版）
- ・ 参照資料一覧
- ・ 改訂履歴

1. はじめにお読みください

本書には、電子処方箋等の運用にあたり、医療機関・薬局間で一連の運用を確認、連携するテスト（以下、「連携テスト」という。）を行う際の注意事項や手順等を記載しています。



- 本書は、普段業務を行う本番環境と、連携テスト等に使用する接続検証環境（テスト環境）の違いをご理解いただいた上で、医療機関・薬局間で連携テストを実施するためのシステム改修に加え、その他の準備や設定が完了している施設向けの手順書となります。
 - 連携テストに必要となる主な事前準備については、「4. 医療機関・薬局間で連携テストを実施する際の準備と注意事項」をご確認ください



- 本書では、薬局職員による連携テストの実施手順のうち、特に以下の工程について解説しています。
 - － オンライン資格確認等システム・電子処方箋管理サービスの接続検証環境（テスト環境）への接続先切替え・切戻し
 - － 資格確認
 - － 処方箋受付
 - － 調剤結果登録

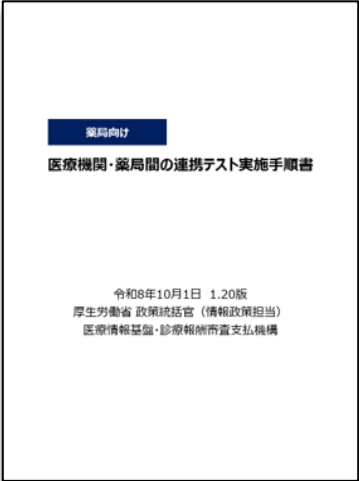


- 本書は、**資格確認端末経由の連携方法**を前提としています。また、顔認証付きカードリーダーを利用したテスト及びマイナ在宅受付Webによる電子処方箋利用のテストは本書の対象外としています。

2. 資料構成及び本書で用いる表記・用語について

資料構成

- 薬局向け 医療機関・薬局間の連携テスト実施手順書（本書）
- 薬局向け 連携テストを実施する際のチェックリスト（別紙）



【別紙】薬局向け 連携テストを実施する際のチェックリスト				
連携テストを実施する際のチェックリスト				
薬局向け 医療機関・薬局間の連携テスト実施手順書（本書）の手順に沿って、ご確認ください。 本書の手続 1～8の各手続が20ページで 1 が付いている手続まで実施できたら、209ページに209を付けてください。				
#	対応ソフト（2ページ）手続番号	確認内容	確認事項等	チェック欄
1	連携テスト手続 1 連携テスト開始の準備	医療機関側のWindowsの設置、アプリのインストールが完了しているか。	＜本書の手続＞ p. 8～9	
2	連携テスト手続 2 連携テスト開始の準備	オンライン連携確認システム（連携確認画面）のアプリのインストールが完了しているか。	＜本書の手続＞ p. 10～11	
3	連携テスト手続 3 連携テスト開始の準備	オンライン連携確認システムの初期設定（連携確認画面）のインストールが完了しているか。	＜本書の手続＞ p. 12～13	
4	連携テスト手続 4 連携テスト開始の準備	連携確認画面（連携確認画面）のインストールが完了しているか。	＜本書の手続＞ p. 14～15	
5	連携テスト手続 5 連携テスト開始の準備	医療機関側の連携確認画面のインストールが完了しているか。	＜本書の手続＞ p. 17	
6	連携テスト手続 6 連携テスト開始の準備	医療機関側の連携確認画面のインストールが完了しているか。	＜本書の手続＞ p. 18	
7	連携テスト手続 7 連携テスト開始の準備	医療機関側の連携確認画面のインストールが完了しているか。	＜本書の手続＞ p. 19	
8	連携テスト手続 8 連携テスト開始の準備	医療機関側の連携確認画面のインストールが完了しているか。	＜本書の手続＞ p. 20～21	

- 連携テストを実施する際の手順、注意事項を記載しています。
- 連携テストを実施する際に確認すべき内容を記載しています。
- 本書とチェックリストを併せてご確認ください。

本書の表記について

- 本書内に記載されている記号等の凡例は以下のとおりです。

記号等	説明
	特にご確認いただきたいポイントについて説明しています。
	特にご注意いただきたい点について説明しています。
「 」	入力内容、選択項目等を表しています。
《 》	画面項目、ボタン名を表しています。
[]	画面名を表しています。
『 』	参照先を表しています。

2. 資料構成及び本書で用いる表記・用語について

本書で用いる用語について

用語	説明
資格確認端末	患者の資格確認等を行う際に使用する端末のことです。
連携アプリケーション	医療機関・薬局の電子カルテシステム、レセプトコンピュータ等とオンライン資格確認等システム及び電子処方箋管理サービスが連携するために必要なアプリケーションです。
連携アプリケーション用アカウント	連携アプリケーションによりオンライン資格確認（障害・災害時の資格 確認機能を除く）、薬剤情報、診療・薬剤情報、特定健診情報及び処方箋の発行形態を取得するために利用します。
環境切替えツール	連携アプリケーションの接続する環境を切り替えるためのツールです。
テスト用資格情報	テスト用資格情報とは、テストでの資格確認に使用する資格情報（保険者番号、被保険者資格に係る記号、番号、枝番 等）を指します。
引換番号	処方箋ごとに発行される6桁の番号です。薬局で資格確認書を使って受付をする場合や、FAXやアプリで事前に処方内容を薬局に送る場合に必要になります。引換番号は、電子処方箋の処方内容（控え）やマイナポータルから確認できます。

3. 連携テストで利用する環境・機器について

医療機関・薬局間の連携テストで利用する環境



- オンライン資格確認等システム、電子処方箋管理サービスの接続先環境には本番環境と接続検証環境（テスト環境）があります。
- 医療機関・薬局間の連携テストでは、**接続検証環境（テスト環境）**を利用します。
- **通常の業務でオンライン資格確認、電子処方箋を使用するために、テスト実施後は、必ず本番環境へ再度の切替え（切戻し）を行ってください。**

環境		説明
	本番環境	通常の業務（実患者）で使用する環境
連携テストで 利用する環境	接続検証 環境	テスト（テスト患者）で使用する環境

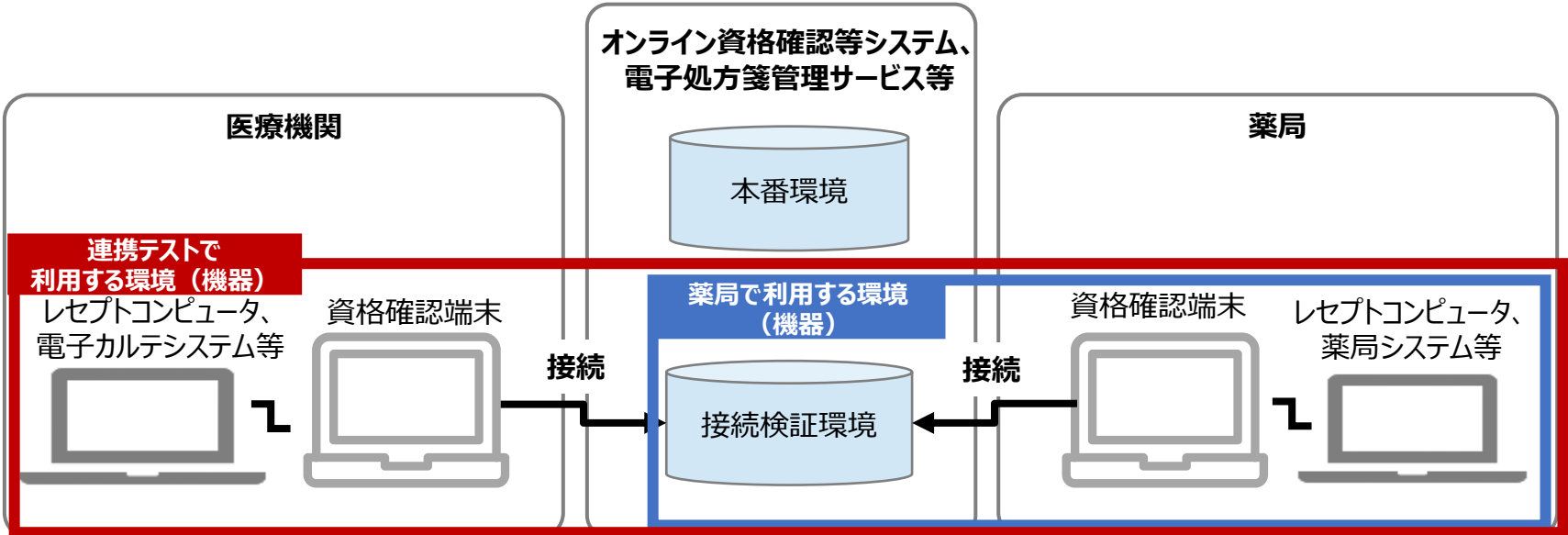
接続検証環境（テスト環境）の利用可能時間について

- 医療機関・薬局間の連携テストを実施する際の接続検証環境（テスト環境）の利用可能時間は、以下のとおりです。
【利用可能時間】
月・火・木・金・土 9時～22時
水 9時～18時
日・祝日 利用不可
- 接続検証環境（テスト環境）に接続中は、通常の業務（実患者）でオンライン資格確認・電子処方箋の使用ができないため、ご注意ください。

医療機関・薬局間の連携テストで利用する環境（機器）



- 医療機関・薬局間の連携テストで利用する環境（機器）は以下の通りです。



4. 医療機関・薬局間で連携テストを実施する際の準備と注意事項

連携テスト実施にあたり、本書に示す手順のほかにも、テストに使用するデータの用意、実施施設間の連携など、様々な事前準備が必要となります。

医療機関・薬局間の連携テストで使用するデータについて

- 連携テストでは、実患者のデータは使用できません。
- 連携テストでは、以下のテストデータを使用します。
 - テスト用資格情報（保険者番号、被保険者資格に係る記号、番号、枝番 等）
 - テスト用の調剤結果情報
- 連携テストを実施する際、テストデータが実患者のデータと混同しないよう、営業終了後などに実施ください。

連携先施設について

- 医療機関・薬局間で連携してテストを実施する際は、実施内容や手順、トラブル時に連絡が取れるよう、事前に十分な打ち合わせを行い、日程を調整してください。
- 医療機関・薬局間の連携テストを実施する際は、テスト用資格情報と引換番号を医療機関から連携いただき、薬局側で処方箋の受付・調剤結果登録を行ってください。

システム事業者への確認について

- 医療機関・薬局間の連携テストを実施する際は、システム事業者にテストを実施する旨、実施日等をご相談の上、実施してください。
- 連携テスト実施までに必要なツールの設置やシステム設定が完了できるよう、システム事業者とよくご調整ください。

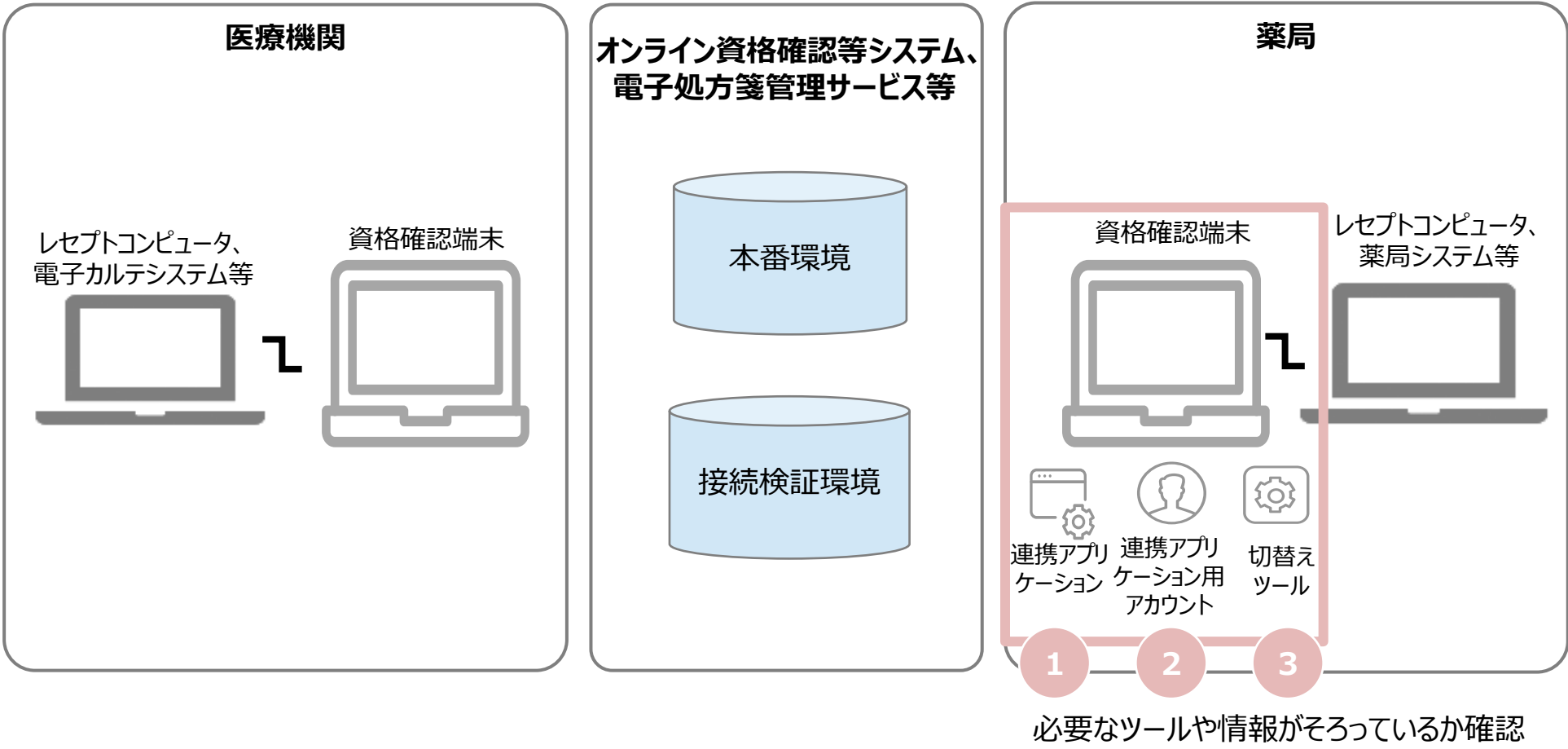
5. 連携テスト実施手順フロー

医療機関・薬局間の連携テスト実施時における、薬局向けの実施手順は **8** 手順あります。

フェーズ	実施手順	実施主体者	参照ページ
環境確認 (事前準備)	1 連携アプリケーションの確認	医療機関・薬局	P. 8 - 9
	2 連携アプリケーション用アカウントの確認	医療機関・薬局	P.10-11
	3 環境切替えツールの確認	医療機関・薬局	P.12-13
テスト準備	4 接続検証環境（テスト環境）への接続設定（切替え）	医療機関・薬局	P.14-16
	テスト用資格情報の作成	医療機関	－
	レセプトコンピュータ等へのテスト用資格情報の登録	医療機関	－
テスト実施	オンライン資格確認の実施	医療機関	－
	処方箋の登録、引換番号の取得	医療機関	－
	テスト用資格情報と引換番号を薬局へ連携	医療機関	－
	5 オンライン資格確認の実施	薬局	P.17
	6 処方箋の受付、調剤結果の登録	薬局	P.18
	7 調剤結果登録完了の旨を医療機関へ連携	薬局	P.19
	（薬局側の調剤結果登録後）調剤結果を取得	医療機関	－
	8 本番環境への接続設定（切戻し）	医療機関・薬局	P.20-22

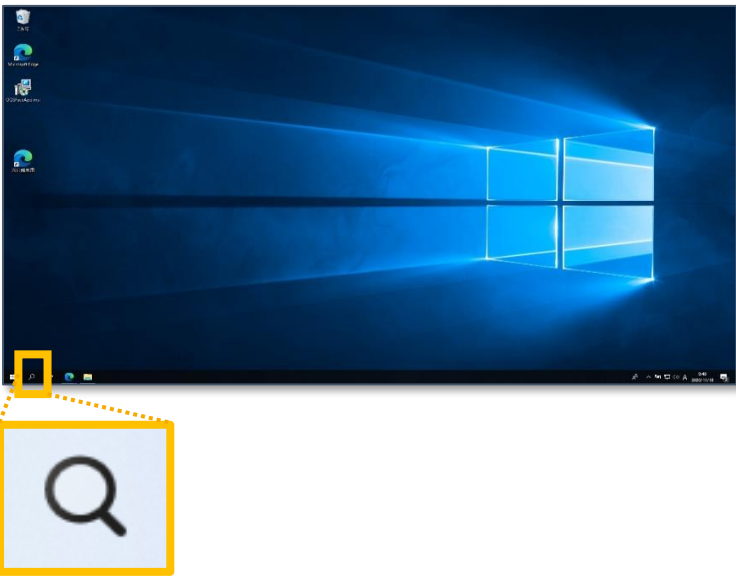
6. 連携テスト実施手順 -環境確認（事前準備）-

環境確認のフェーズでは、接続先システムを接続検証環境（テスト環境）に切り替えるために、必要なツールや情報がそろっているか確認を行います。

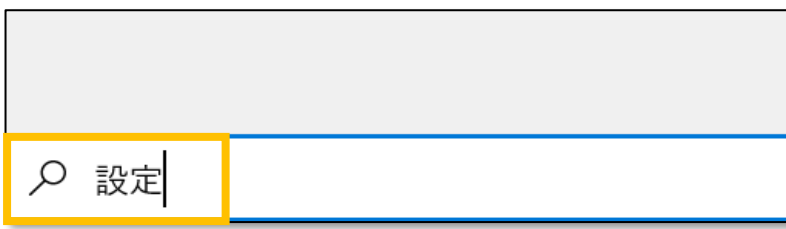


1 連携アプリケーション（※）の確認

1. **資格確認端末**を起動し、[デスクトップ]画面下部にある《検索》アイコンをクリックし、検索ボックスに「設定」と入力します。



2. 検索結果から《設定》をクリックします。

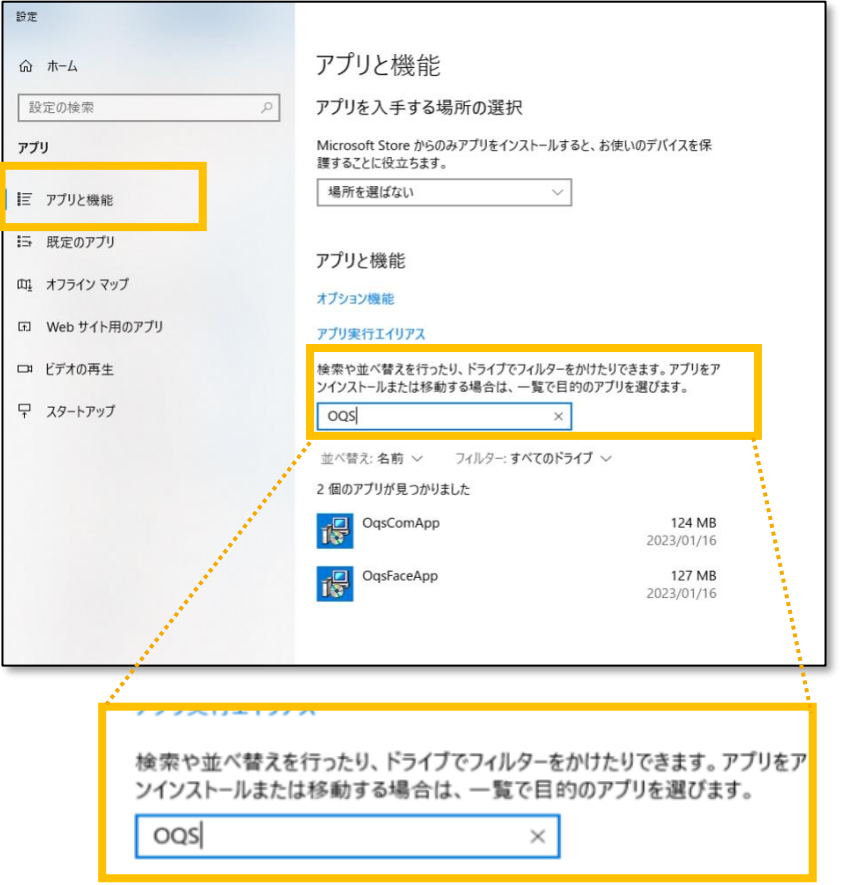


1

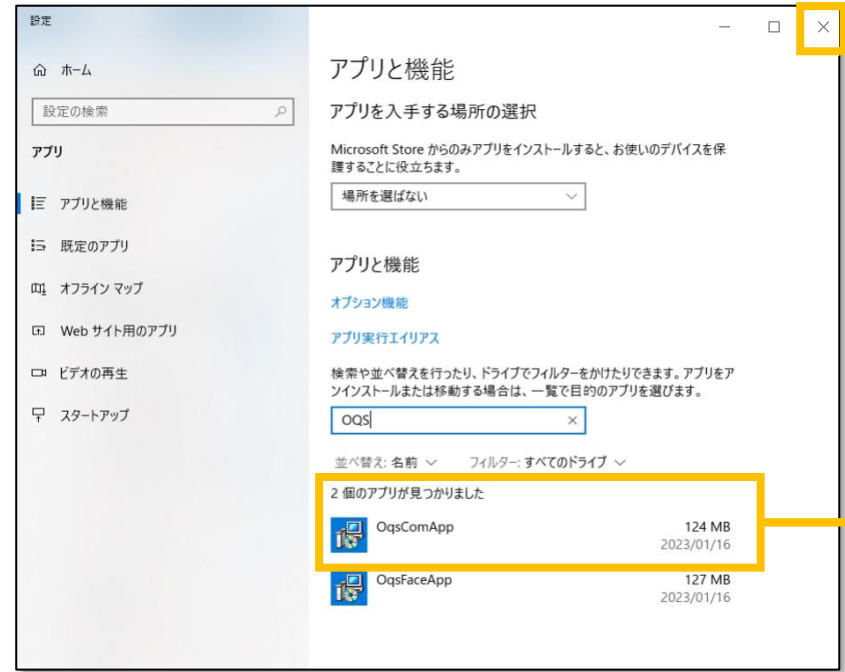
連携アプリケーションの確認

3. [Windowsの設定]画面が表示されます。画面の中のメニューから《アプリ》をクリックします。
4. 《アプリと機能》をクリックし、検索ボックスに、「OQS」と入力します。





5. 検索結果が表示されます。



OpsComAppが表示される

連携アプリケーションのインストールが完了しているため、右上の《閉じる》ボタンをクリックし、**手順2 連携アプリケーション用アカウントの確認**に進んでください。

OpsComAppが表示されない

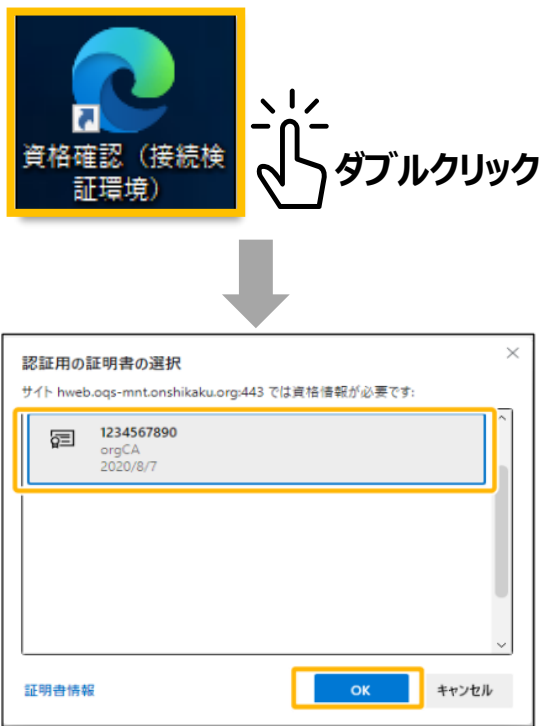
連携アプリケーションのインストールが完了していないため、右上の《閉じる》ボタンをクリックし、『**連携アプリケーション導入手順書 3. 資産の複写**』に沿ってインストールしてください。

 手順 1 は完了です。

2

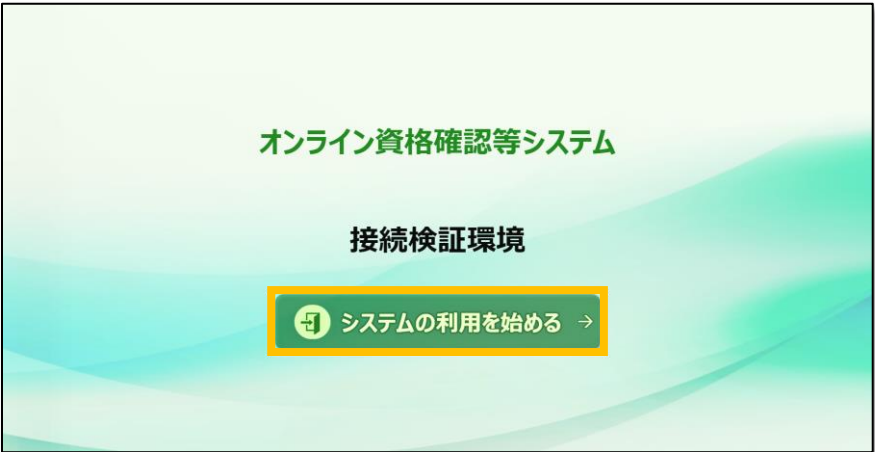
連携アプリケーション用アカウントの確認

1. **資格確認端末**のデスクトップ画面に用意されている「**資格確認（接続検証環境）**」のアイコン（※1）をダブルクリックします。[認証用の証明書の選択]画面が表示されるので、認証用の証明書（自医療機関コードのもの）をクリックし、《OK》をクリックします。



（※1）アイコンがない場合や該当のアイコンが不明な場合は、システム事業者にご確認ください。

2. [オンライン資格確認等システム]画面が表示されます。《システムの利用を始める》をクリックします。



3. [ログイン]画面が表示されたら、管理アカウント（※2）の「ユーザーID、パスワード」を入力し、《ログイン》をクリックします。

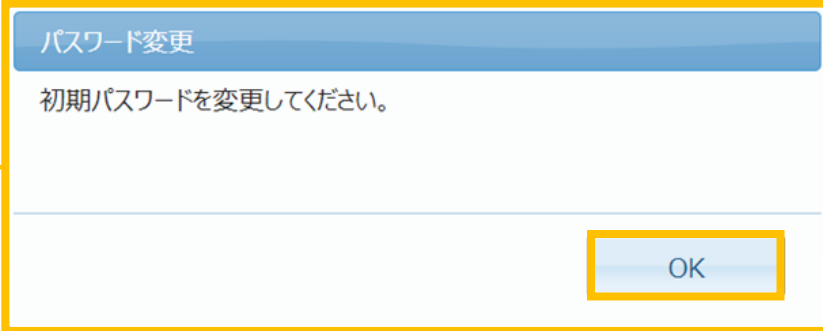


（※2）オンライン資格確認等システムへログインする際の**管理アカウント**を作成していない場合は、『**オンライン資格確認等システム操作マニュアル(管理者編)**』をご確認ください。

4. ログイン後に[パスワード変更]画面の表示有無を確認します。

初期パスワード変更が完了している場合
[パスワード変更]画面は表示されないので、**手順 2 - 5.** に進んでください。

初期パスワード変更が完了していない場合
[パスワード変更]画面が表示されるため、《OK》をクリックし、『**オンライン資格確認等操作マニュアル(一般利用者・医療情報閲覧者編) 第1章 4 パスワードを変更する**』に沿って、変更してください。パスワードの変更後、メニュー画面に戻り**手順 2 - 5.** に進んでください。



2

連携アプリケーション用アカウントの確認

5. [メニュー]画面が表示されます。アカウント情報管理の《アカウント管理（更新）》をクリックします。
6. [アカウント検索]画面が表示されます。権限区分から「連携アプリケーション用」を選択し、《検索》をクリックします。

アカウント管理（更新）

連携アプリケーション用

7. 検索結果が表示されます。

連携アプリケーション用のアカウント「R1XXX」が表示される

連携アプリケーション用のアカウント作成が完了しているため、右上の《ログアウト》をクリックし、**手順3 環境切替えツールの確認**に進んでください。

連携アプリケーション用のアカウント「R1XXX」が表示されない

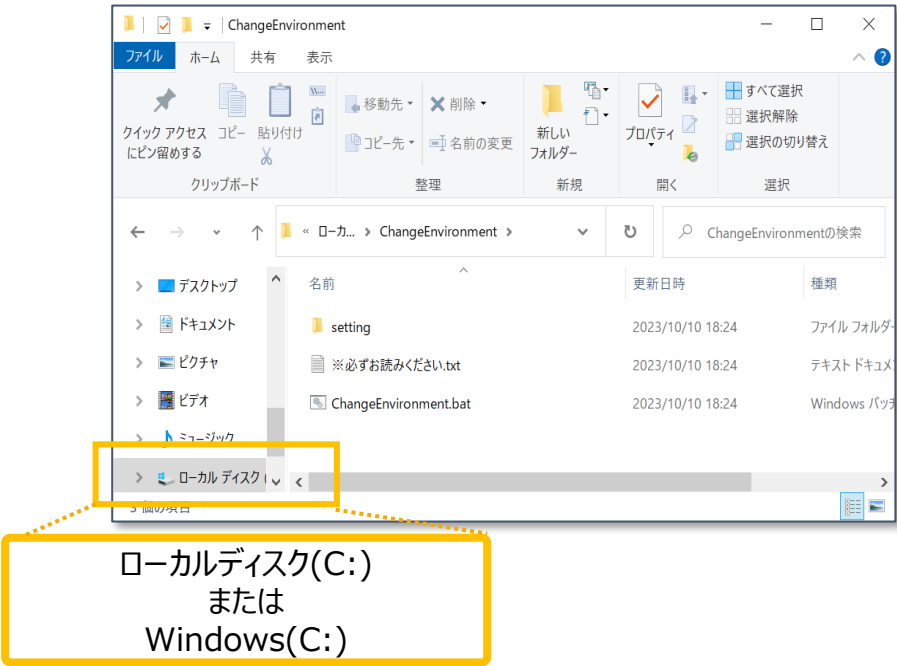
連携アプリケーション用のアカウント作成が完了していないため、『医療機関向けセットアップ手順書（電子処方箋抜粋）』の『2 連携アプリケーション用アカウント作成・資格設定をする』に沿ってアカウント作成、資格情報マネージャーの設定等を実施してください。
アカウント作成、資格情報マネージャーの設定等が完了したら、手順3 環境切替えツールの確認に進んでください。

手順2は完了です。

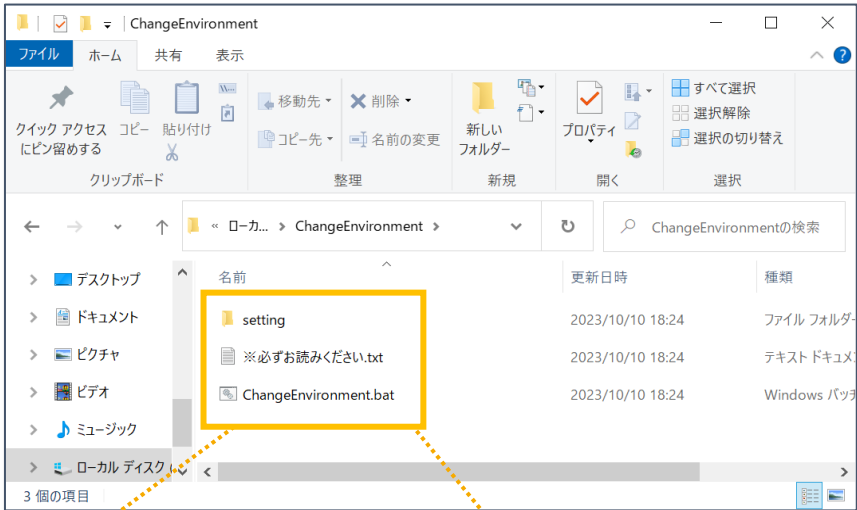
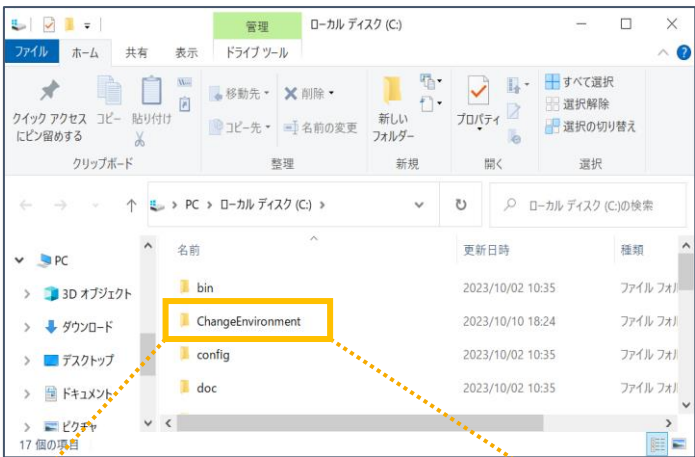
3

環境切替えツール（※）の確認

1. 資格確認端末の《スタート》ボタンを右クリックすると、メニューが表示されます。メニューから《エクスプローラー》をクリックします。
2. [エクスプローラー]が表示されます。《ローカルディスク（C:）》又は《Windows（C:）》をクリックします。



3. ローカルディスク（C:）又はWindows（C:）に《ChangeEnvironment》フォルダがあるか確認します。
4. 《ChangeEnvironment》フォルダをダブルクリックすると、以下のフォルダとファイルが表示されます。



ChangeEnvironment

settingフォルダ
※必ずお読みください.txt
ChangeEnvironment.bat



《ChangeEnvironment》フォルダが**表示される**
環境切替えツールのインストールが完了しているため、**手順 3 - 4.**に進んでください。



《ChangeEnvironment》フォルダが**表示されない**
環境切替えツールのインストールが完了していないため、システム事業者にご確認の上、切替えツールをインストールしてください。

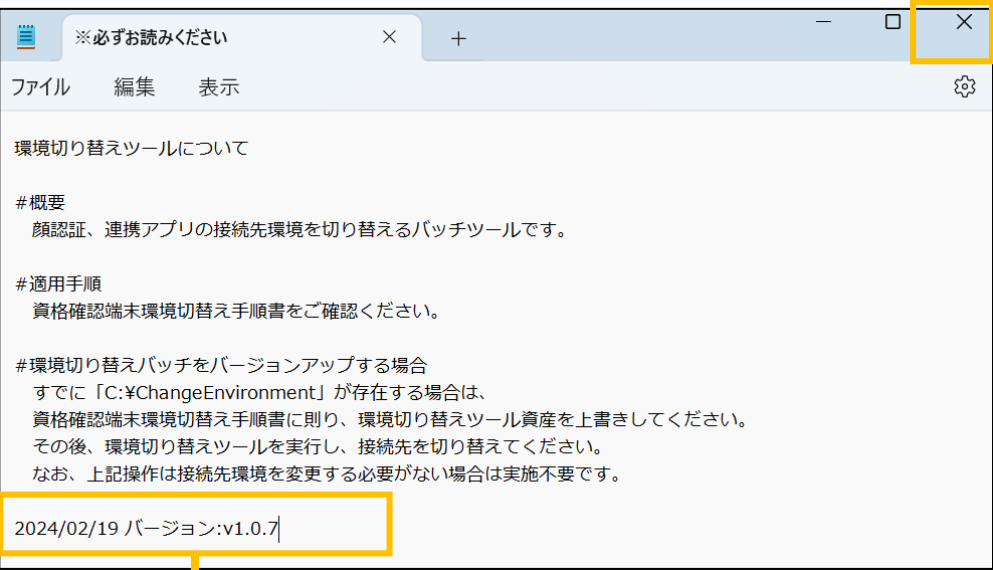
（※）環境切替えツールとは、連携アプリケーションの接続する環境を切り替えるためのツールです。

3

環境切替えツールの確認

5. 「必ずお読みください.txt」をダブルクリックをして開きます。インストールされた環境切替えツールのバージョンが記載されています。以下の照会先URLのファイルに記載されている、最新のバージョン情報と比較し、インストールされている環境切替えツールが最新バージョンと同じか確認してください。

■ 照会先URLは[こちら](#)



「資格確認端末セットアップ手順書」において導入いただく支払基金が提供するアプリケーション等情報
※2024/2/19時点（左記の日付にバージョンアップしたアプリケーションのバージョン情報を赤字で記載）

#	アプリケーション名称	掲載ファイル	バージョン情報
1	連携アプリケーション	Q Q S Com App.zip	3.0.0
2	ブラウザ拡張プラグイン （顔認証ライブラリ含む）	Q Q S Face App.zip	3.0.1
3	配信アプリケーション	Q Q S Distro App.zip	2.0.4
4	WPKIクライアント	Cybertrust Managed PKIClient.zip	1.2.0.0
5	環境切替えツール	Change Environment.zip	1.1.4.19
6	顔認証付きカードリーダーアプリケーション		
	- 富士通Japan株式会社		1.0.1
	- パナソニック コネクト株式会社		ORA_MSP_P2.11.9_A16.5.5
	- 株式会社アルメックス		1.1.4.19
			1.1.4.19
			1.24
		アップデート管理ツール	1.0.17
		カードリーダー本体	1.3.15
	- キヤノンマーケティング ジャパン株式会社	管理アプリケーション	1.9.0.0
		アプリケーション	1.9.0.0
		OSソフトウェア	1.8.2.0
	- アトラス情報サービス株式 会社	アプリケーション	1.6.3.0
		カードリーダー本体	1.6.1.0

最新バージョンの場合

最新バージョンの環境切替えツールのインストールが完了しているため、[必ずお読みください.txt]の右上の《閉じる》ボタンをクリックし、**手順4 接続検証環境（テスト環境）への接続設定（切替え）**に進んでください。

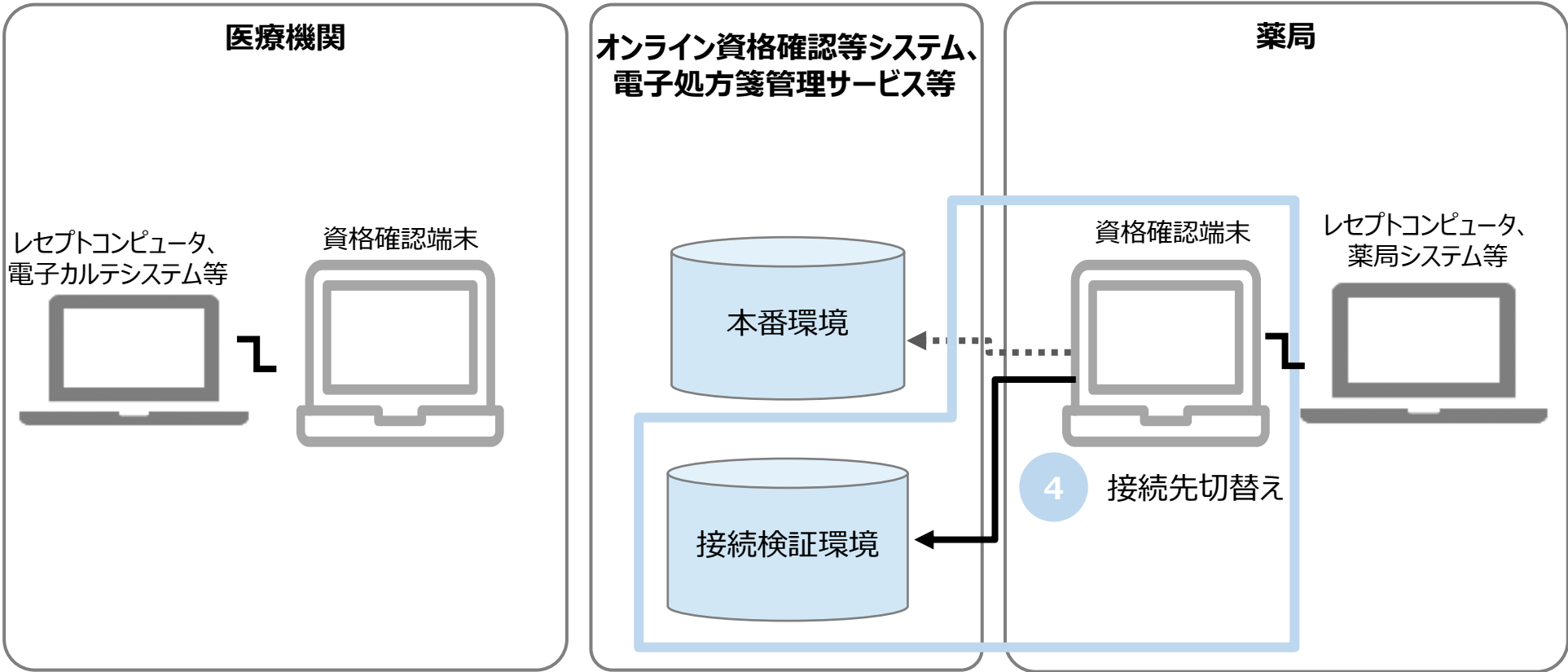
最新バージョンではない場合

システム事業者にご確認の上、最新バージョンの環境切替えツールをインストールしてください。

✓ 手順3は完了です。

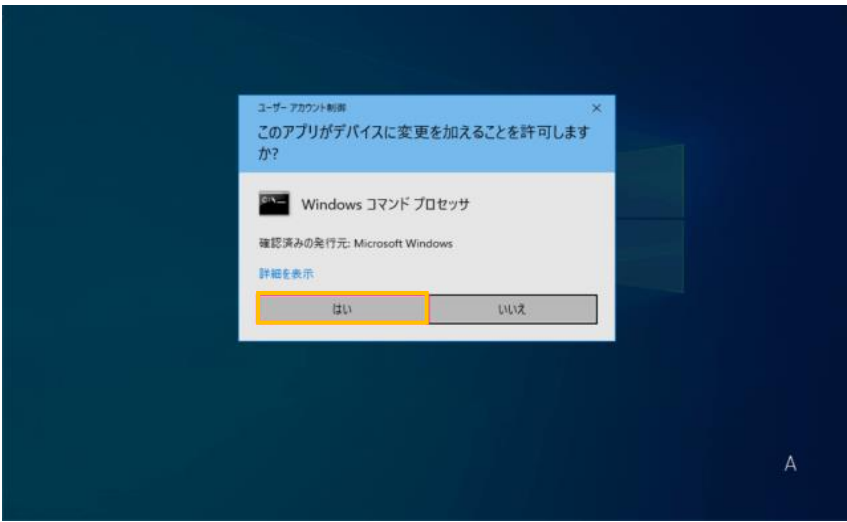
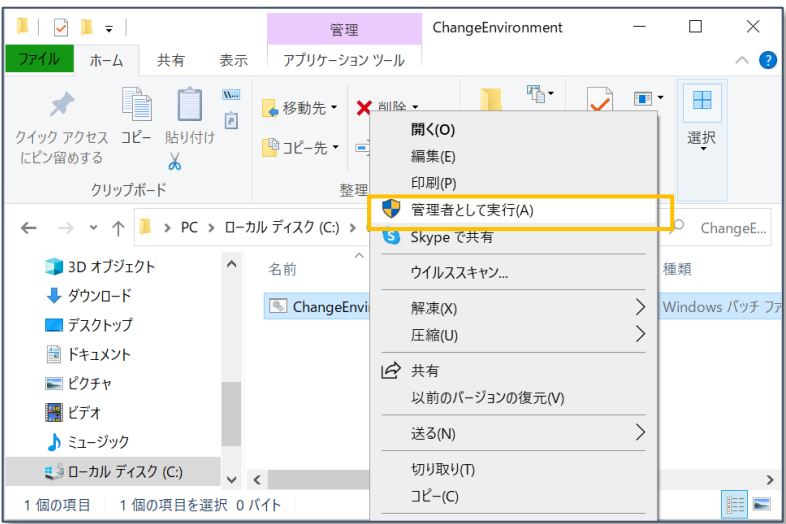
7. 連携テスト実施手順 -テスト準備-

テスト準備のフェーズでは、オンライン資格確認等システム、電子処方箋管理サービスの接続先を本番環境から**接続検証環境（テスト環境）**へ切り替えを行います。



4 接続検証環境（テスト環境）への接続設定（切替え）

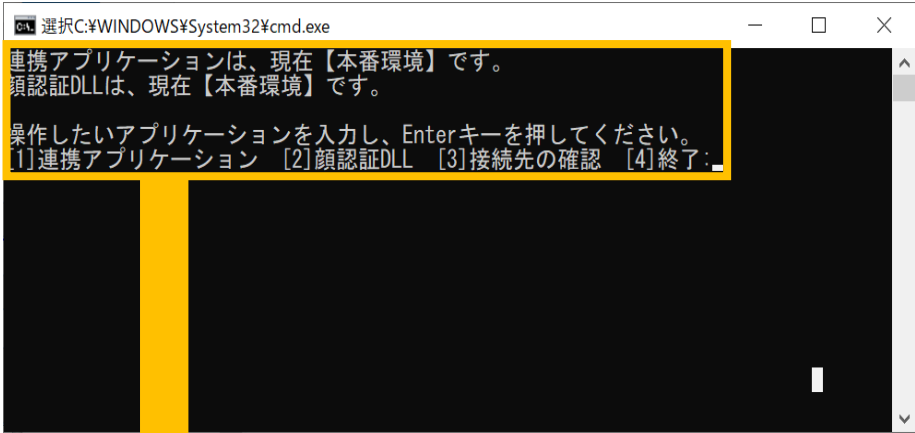
1. 手順 3 - 1. ～ 3 - 3. と同様に**資格確認端末**のローカルディスク（C:）またはWindows（C:）にある、《ChangeEnvironment》フォルダをクリックします。《ChangeEnvironment》フォルダ内の《ChangeEnvironment.bat》を右クリックし、表示されるメニューから《管理者として実行》をクリックします。
2. [Windows コマンド プロセッサ]画面が表示された場合、《はい》をクリックします。表示されない場合は、手順手順 4 - 3. に進んでください。



4

接続検証環境（テスト環境）への接続設定（切替え）

3. [アプリの選択]画面が表示されます。



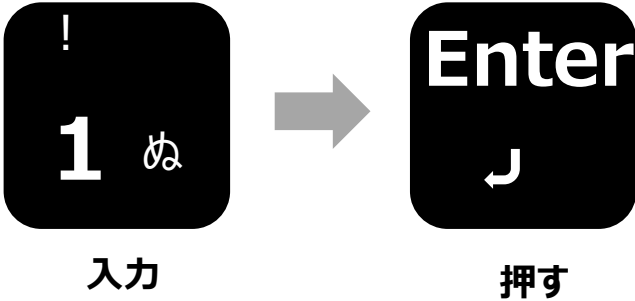
● 本番環境に接続されている場合の画面イメージ

連携アプリケーションは、現在【本番環境】です。
顔認証DLLは、現在【本番環境】です。

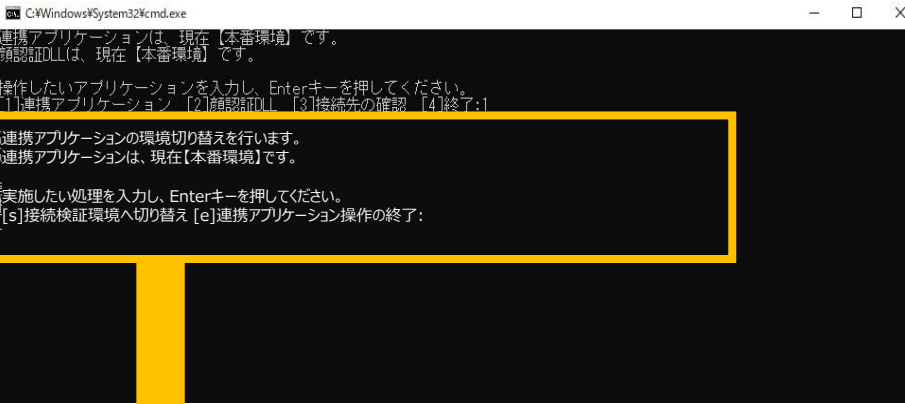
操作したいアプリケーションを入力しEnterキーを押してください。

[1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了：

4. 連携アプリケーションの接続先を切り替えるに当たりメニューから[1]連携アプリケーションを選択するため、キーボードで **1** を入力し、**Enter**キーを押します。



5. 環境切替えを行う[サブメニュー]画面が表示されます。



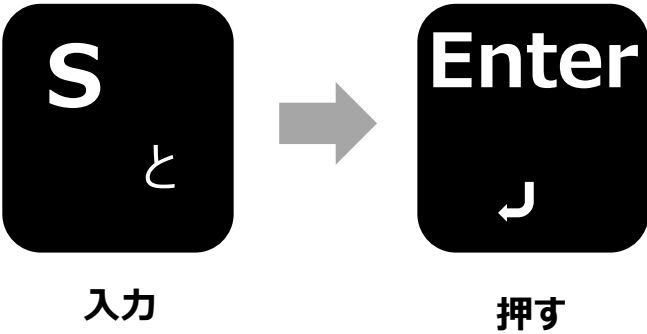
● 本番環境に接続されている場合の画面イメージ

連携アプリケーションの環境切り替えを行います。
連携アプリケーションは、現在【本番環境】です。

実施したい処理を入力し、Enterキーを押してください。

[s]接続検証環境へ切り替え [e]連携アプリケーション操作の終了：

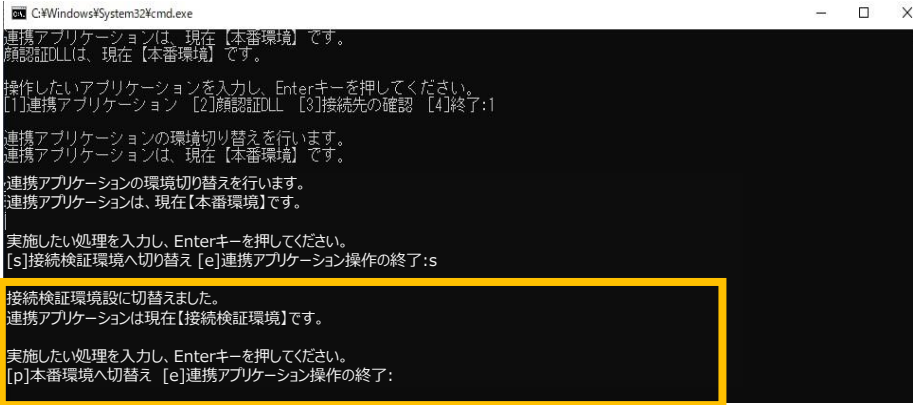
6. 接続検証環境へ切替えを行う場合、キーボードで **s** を入力し、**Enter**キーを押します。



4

接続検証環境（テスト環境）への接続設定（切替え）

7. 接続検証環境に切り替えた[メッセージ]画面が表示されます。

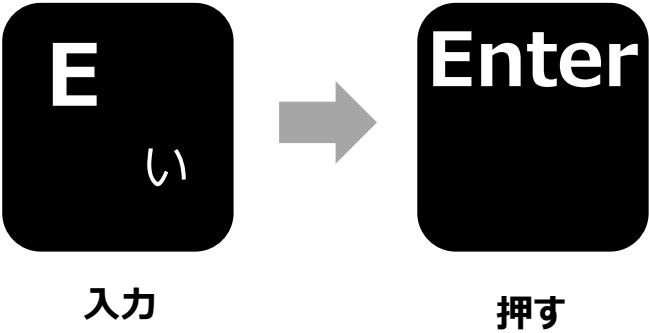


● 接続検証環境に切り替えた場合の画面イメージ

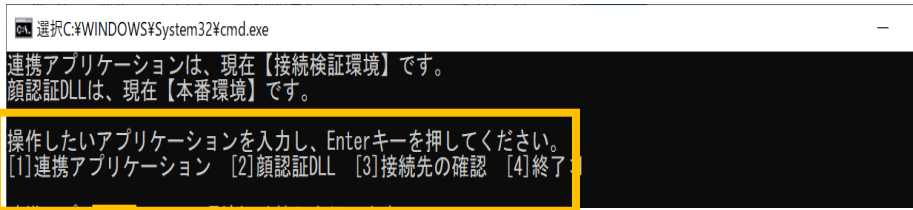
接続検証環境に切り替えました。
連携アプリケーションは、現在【接続検証環境】です。

実施したい処理を入力し、Enterキーを押してください。
[p]本番環境へ切替え [e]連携アプリケーション操作の終了:

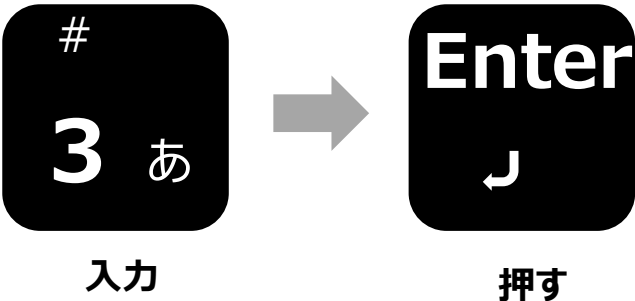
8. 連携アプリケーションの操作を終了するため、キーボードでeを入力し、Enterキーを押します。



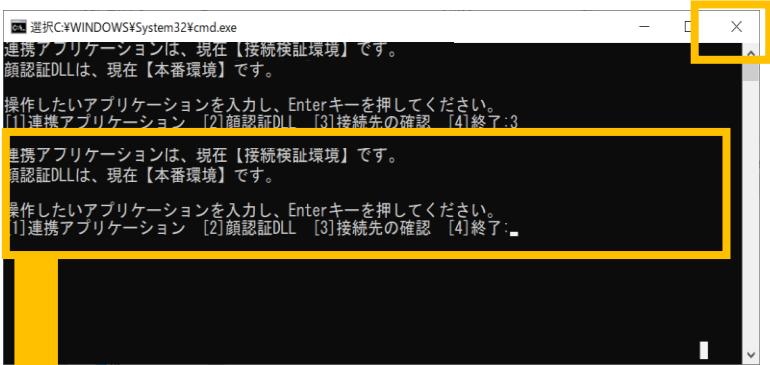
9. [アプリの選択]画面が表示されます。接続先を再度確認するため、キーボードで3を入力し、Enterキーを押します。



操作したいアプリケーションを入力しEnterキーを押してください。
[1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了:



10. 接続検証環境に接続されていることを再度確認し、右上の《閉じる》ボタンをクリックし、切替えツールを終了します。



● 接続検証環境に接続されている場合の画面イメージ

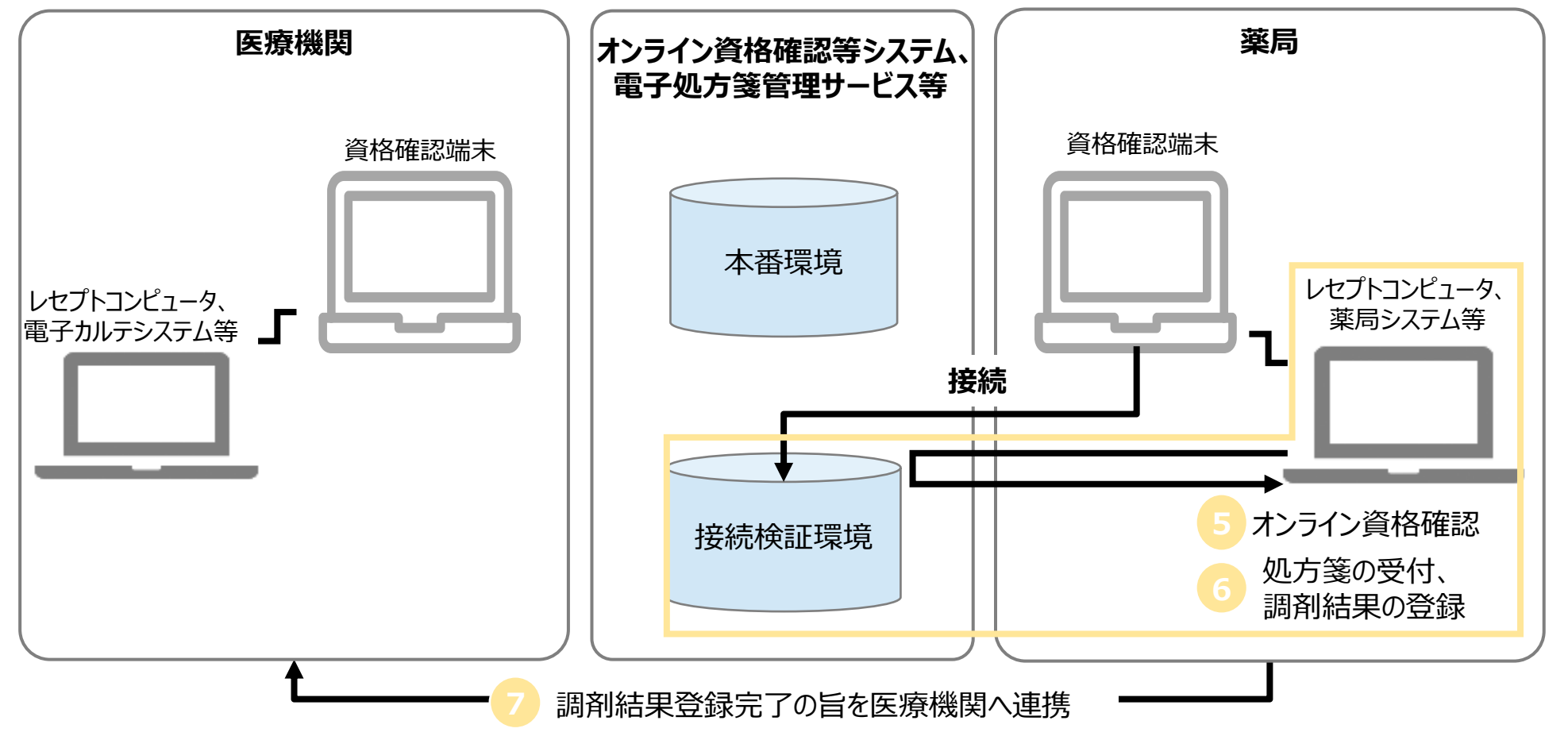
連携アプリケーションは、現在【接続検証環境】です。
顔認証DLLは、現在【本番環境】です。

操作したいアプリケーションを入力しEnterキーを押してください。
[1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了:

☒ 手順4は完了です。

8. 連携テスト実施手順 -テスト実施-

テスト実施のフェーズでは、医療機関より連携されたテスト用資格情報を用いたオンライン資格確認、引換番号を用いた処方箋の受付、調剤結果の登録を行います。



5 オンライン資格確認の実施

1. 医療機関から連携されたテスト用資格情報を用いて、**レセプトコンピュータ等**で資格情報を照会、有効かどうか確認し、資格情報を取り込みます。

Image

オンライン資格確認

保険者番号	12345		
記号・番号・枝番	1234	5698910	01
生年月日	昭和45年1月1日		
資格確認日	令和元年11月1日		

Image

患者情報

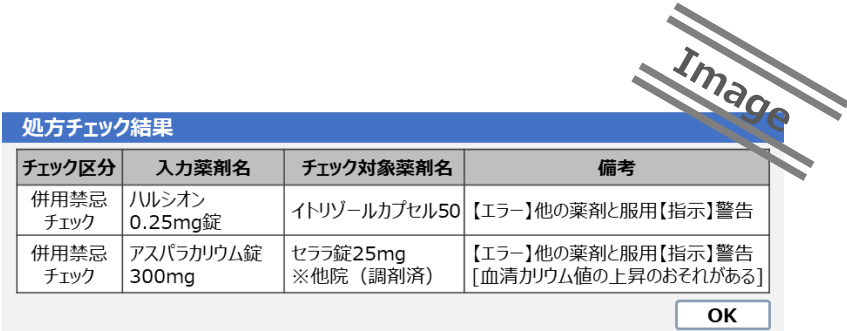
シメイ	コウロウ タロウ	性別	男	資格確認日	令和元年11月1日
氏名	厚労 太郎	生年月日	昭和45年1月1日	年齢	50歳
保険者番号	12345	保険者名	XX健保	郵便番号	123-4567
記号・番号・枝番	1234	5698910	01	住所	東京都港区XX-XX
患者区分	健康保険組合	本人	3割	電話番号 1	XX-XXXX-XXXX
資格取得年月日	平成28年7月1日	交付年月日	平成28年7月1日	電話番号 2	XXX-XXX-XXXX
有効期限	平成28年7月1日	~	令和4年7月1日		

✓ 手順 5 は完了です。

6

処方箋の受付、調剤結果の登録

1. 医療機関から連携されたテスト用資格情報及び引換番号を**レセプトコンピュータ、薬局システム等**に入力し、該当の電子処方箋を取得します。
2. **レセプトコンピュータ、薬局システム等**で、電子処方箋又は処方箋情報が記載されたファイルとともに表示された重複投薬等チェックの結果を確認します。



3. **レセプトコンピュータ、薬局システム等**で、調剤する薬剤の名称や医薬品コード、医師への伝達事項等を記録した調剤結果情報（テストデータ）を作成します。
4. 調剤結果情報に対し、薬剤師の電子署名を付与し、**レセプトコンピュータ、薬局システム等**で、電子処方箋管理サービス送信用のファイルの確定操作を行います。

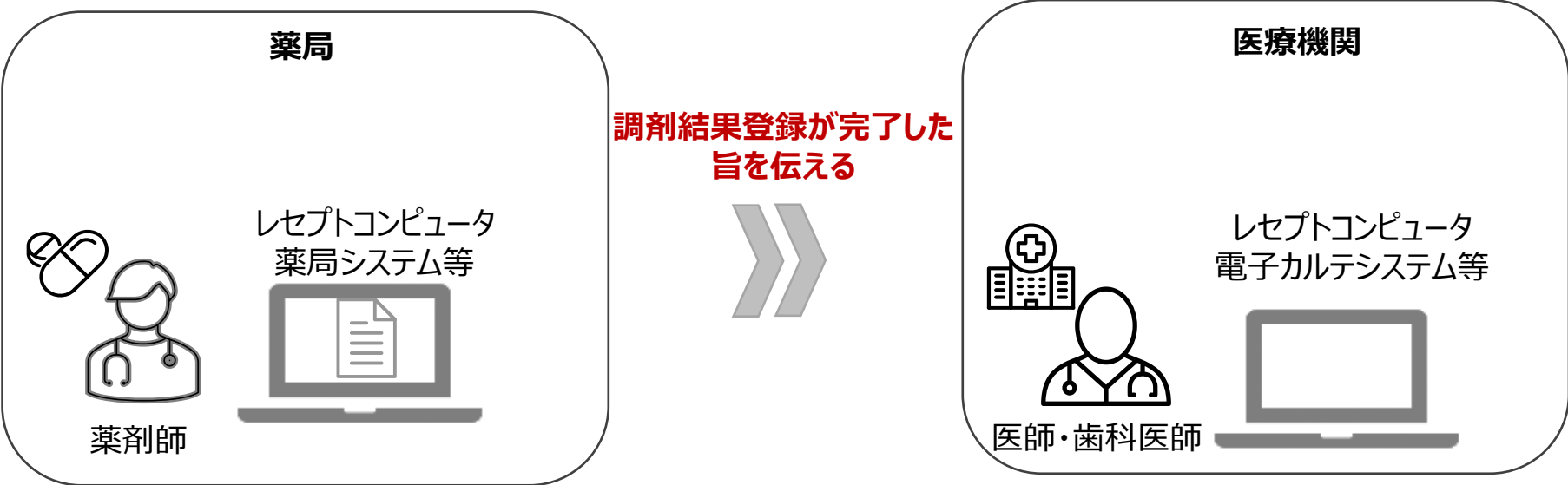


☒ 手順 6 は完了です。

7

調剤結果登録完了の旨を医療機関へ連携

1. 電子処方箋管理サービス送信用の調剤結果情報の確定操作が完了したら、調剤結果の登録が完了した旨を医療機関へ伝えます。

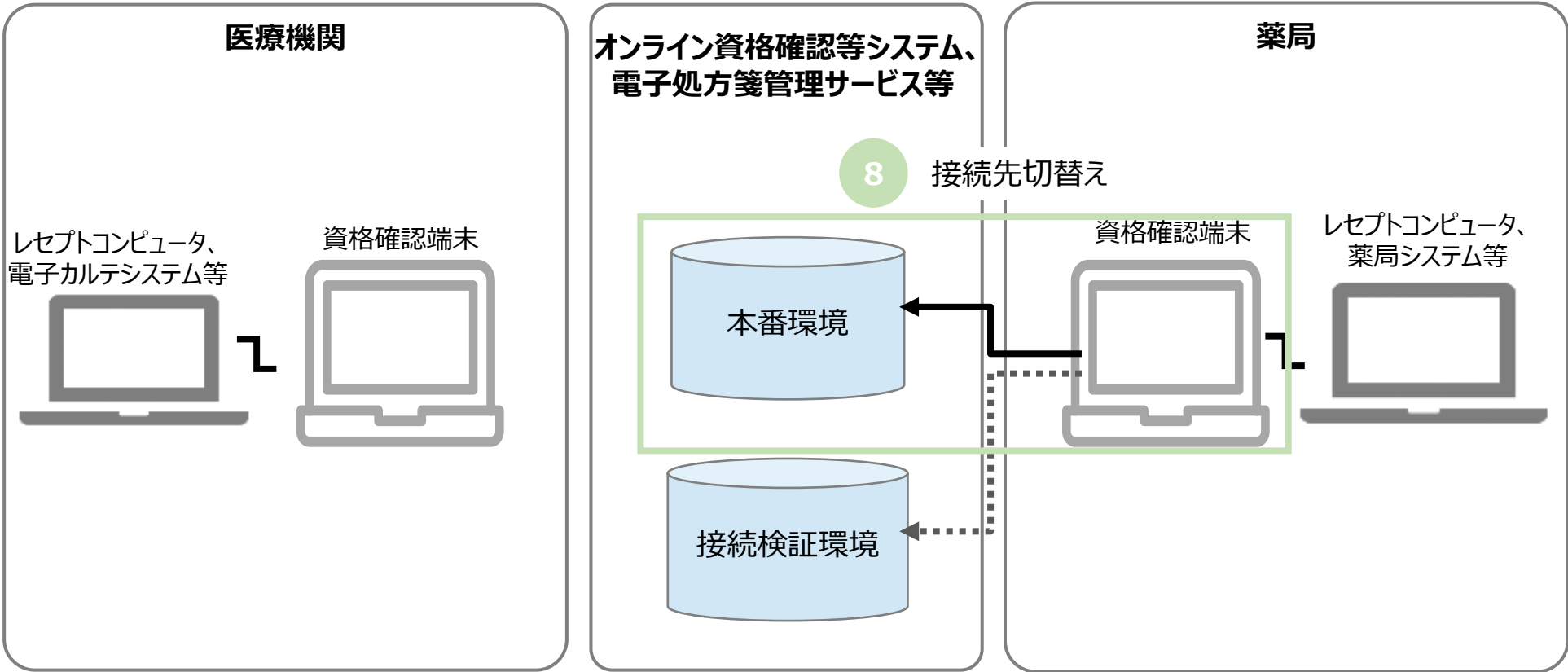


☒

手順7は完了です。

9. 連携テスト実施手順 -テスト実施後-

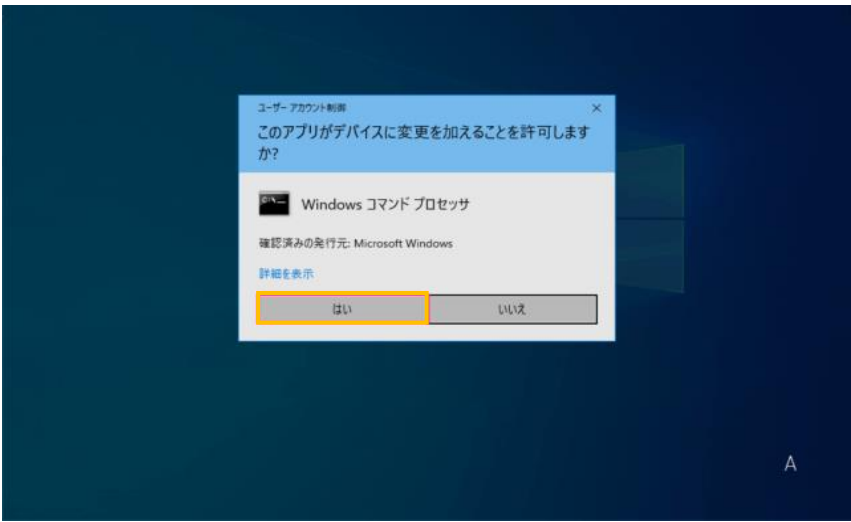
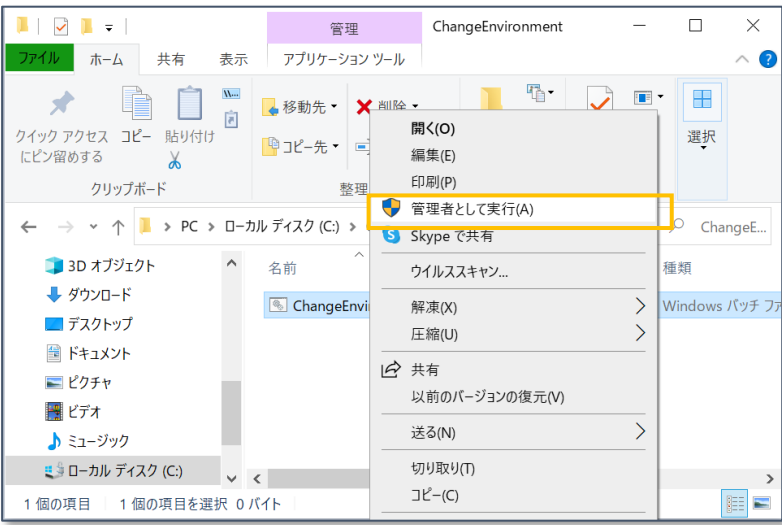
テスト実施後のフェーズでは、オンライン資格確認等システム、電子処方箋管理サービス等を接続検証環境から**本番環境**へ切替え（切戻し）を行います。



※通常の業務でオンライン資格確認、電子処方箋を使用するために、テスト実施後は、必ず本番環境へ再度の切替え（切戻し）を行ってください。

8 本番環境への接続設定（切戻し）

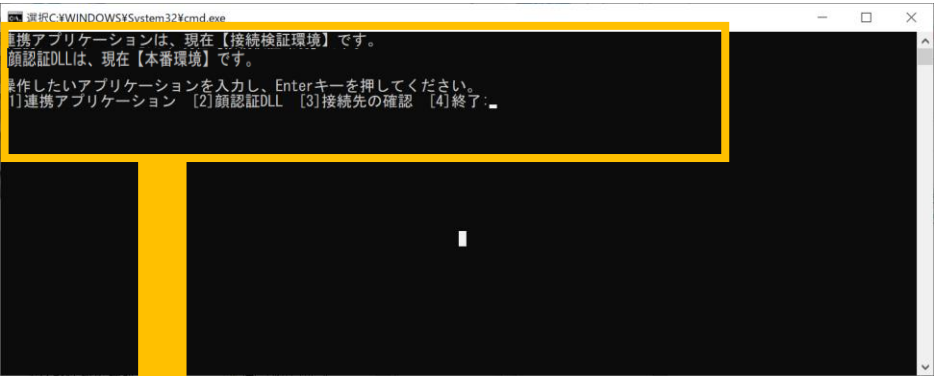
- 1. 手順 3 - 1. ～ 3 - 3. と同様に**資格確認端末**のローカルディスク（C:）またはWindows（C:）にある、《ChangeEnvironment》フォルダをクリックします。《ChangeEnvironment》フォルダ内の《ChangeEnvironment.bat》を右クリックし、表示されるメニューから《管理者として実行》をクリックします。
- 2. [Windows コマンド プロセッサ]画面が表示された場合、《はい》をクリックします。表示されない場合は、手順手順 8 - 3. に進んでください。



8

本番環境への接続設定（切戻し）

3. [アプリの選択]画面が表示されます。



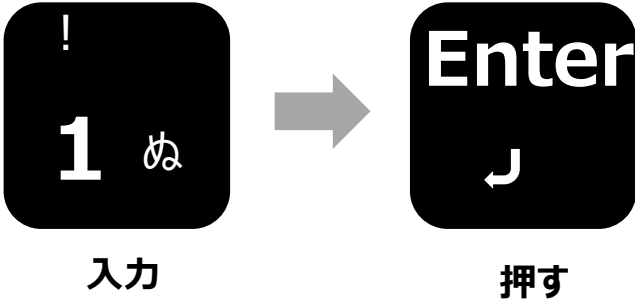
● 接続検証環境に接続されている場合の画面イメージ

連携アプリケーションは、現在【接続検証環境】です。
顔認証DLLは、現在【本番環境】です。

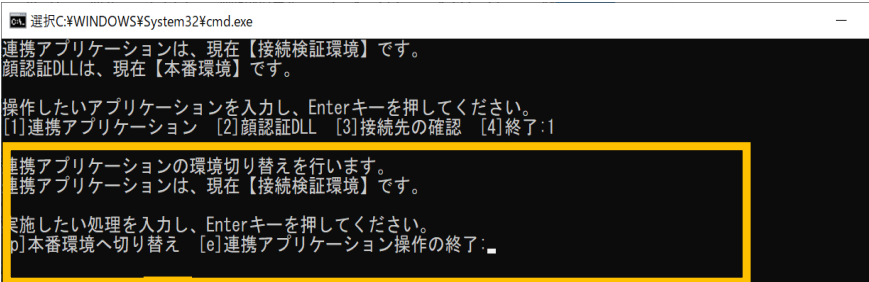
操作したいアプリケーションを入力し、Enterキーを押してください。

[1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了：

4. 連携アプリケーションの接続先を切り替えるに当たりメニューから[1]連携アプリケーションを選択するため、キーボードで **1** を入力し、**Enter**キーを押します。



5. 環境切替えを行う[サブメニュー]画面が表示されます。



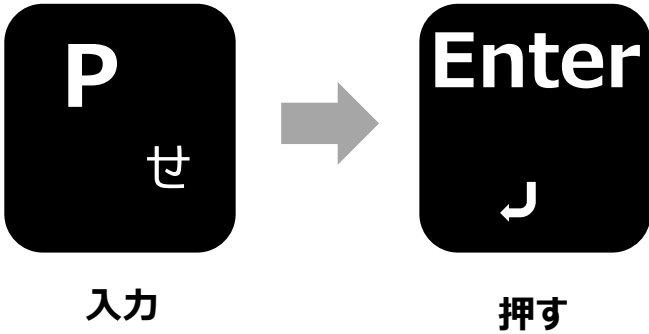
● 接続検証環境に接続されている場合の画面イメージ

連携アプリケーションの環境切り替えを行います。
連携アプリケーションは、現在【接続検証環境】です。

実施したい処理を入力し、Enterキーを押してください。

[p]本番環境へ切り替え [e]連携アプリケーション操作の終了：

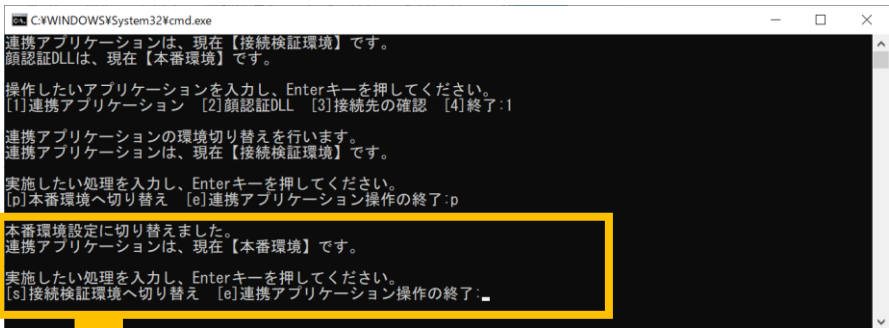
6. 本番環境へ切替えを行う場合、キーボードで **p** を入力し、**Enter**キーを押します。



8

本番環境への接続設定（切戻し）

7. 本番環境に切り替えたメッセージ画面が表示されます。

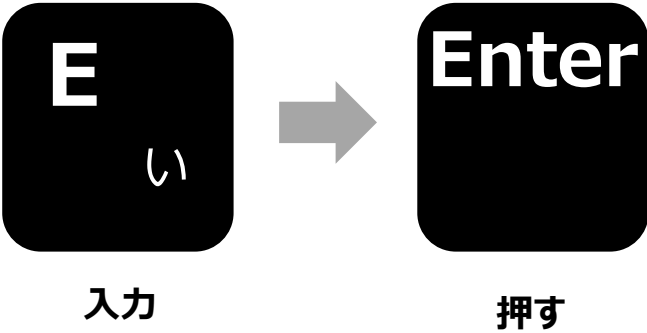


● 本番環境に切り替えた場合の画面イメージ

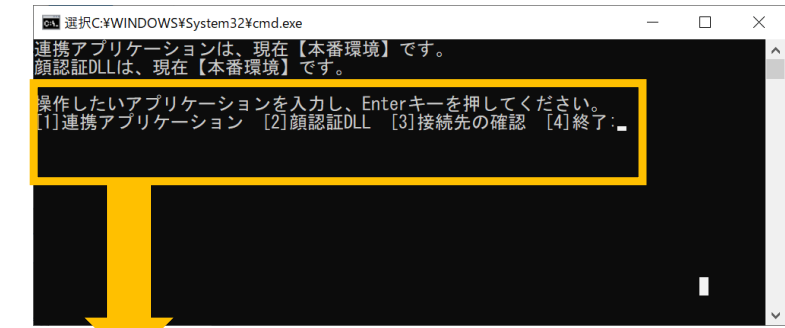
本番環境設定に切り替えました。
連携アプリケーションは、現在【本番環境】です。

実施したい処理を入力し、Enterキーを押してください。
[s]接続検証環境へ切替え [e]連携アプリケーション操作の終了:

8. 連携アプリケーションの操作を終了するため、キーボードでeを入力し、Enterキーを押します。

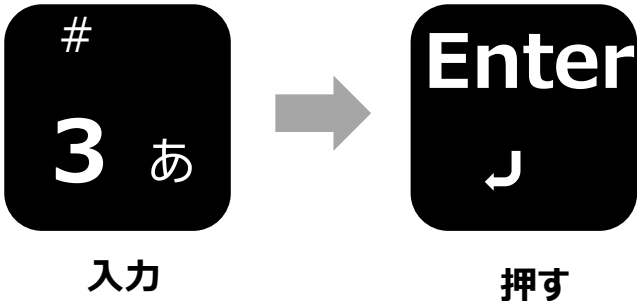


9. [アプリの選択]画面が表示されます。接続先を再度確認するため、キーボードで3を入力し、Enterキーを押します。



操作したいアプリケーションを入力し、Enterキーを押してください。

[1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了:



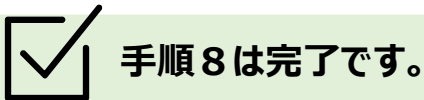
10. 本番環境に接続されていることを再度確認し、右上の閉じるボタンをクリックし、切替えツールを終了します。



● 本番環境に接続されている場合の画面イメージ

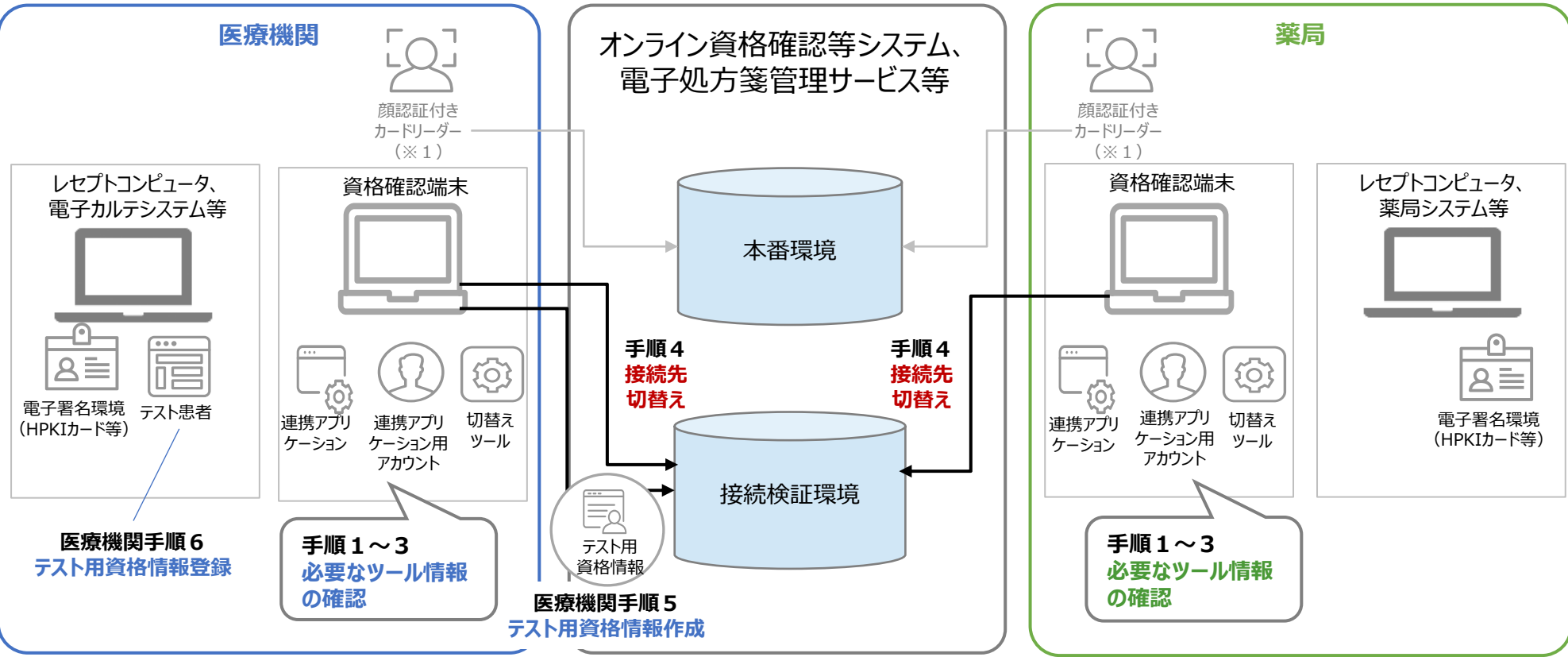
連携アプリケーションは、現在【本番環境】です。
顔認証DLLは、現在【本番環境】です。

操作したいアプリケーションを入力し、Enterキーを押してください。
[1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了:



環境確認～連携テスト準備完了時点イメージ（詳細版）

環境確認から連携テスト準備完了時点の一連のイメージ（詳細版）を記載しています。

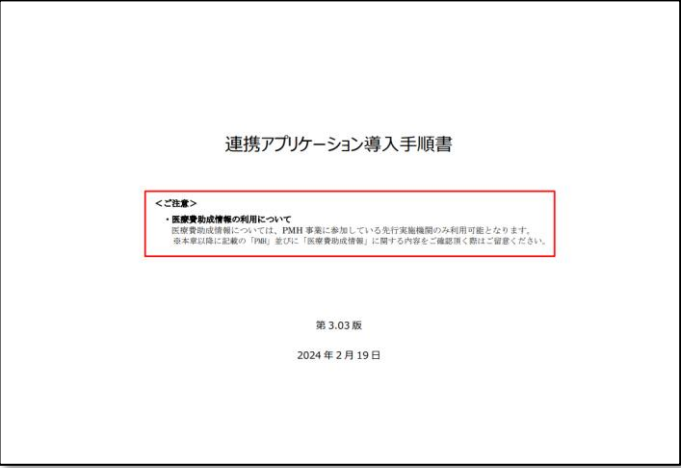


（※ 1）顔認証付きカードリーダーを用いたテストは当該連携テストにおいて実施のステップ対象外のため、切替えは行わずに、「本番環境」に接続した状態としてください。

参考資料一覧

■ 該当手順1-5.

『連携アプリケーション導入手順書』



[こちら](#)



■ 該当手順2-3.

『オンライン資格確認等操作マニュアル（管理者編）』



[こちら](#)



■ 該当手順2-4.

『オンライン資格確認等操作マニュアル（一般利用者・医療情報閲覧者編）』

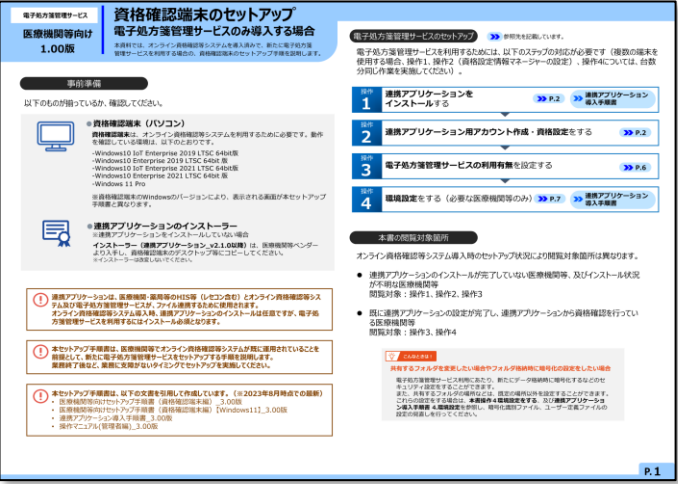


[こちら](#)



■ 該当手順2-7.

『医療機関等向けセットアップ手順書（電子処方箋抜粋版）』



[こちら](#)



■ 該当手順5～7

『薬局向けオンライン資格確認等システム運用マニュアル』



[こちら](#)



改訂履歴

日付	版数	改訂内容
令和6年3月29日	1.00版	初版作成
令和7年12月1日	1.10版	・令和7年12月2日以降、健康保険証が使用できなくなることに伴う内容の更新
令和8年10月1日	1.20版	・令和8年10月1日の社会保険診療報酬支払基金の改組及び名称変更等に係る内容の更新